陳し直接を失（一昨日二十四日、二十五日両日休業）法動せざりしが昨二十五日夜後死力なき調停者出現なるを以て法動に気づき策動を初めたり　但し今後事一切不穏の動には出でざるべく虞犯者を順次引上げしまう見込み、

事業主側は依然強硬を標榜しあり

昨二十五日夜より道會議長秋山常吉、新商主会所会頭森広則等十一名の者調停員動を開始し関係方働国作事業主国作に基本的とせり　労働者側は主に法結を見出したるが如き事業主側が直ちに応ずるや否や甚だ疑問なり

電報譯文

六月二十二日　午前零時四十五分着電

北海道廳長官

社會局長官殿

二月十三日付特乙秘第四一〇號ヲ以テ報告ノ通リ小樽港荷役部人夫三十三名ハ客月分ノ賃銀過少ニシテ生活費ニ不足ス猶シ事業主浜名甚五郎ニ対シ金十円宛ノ増給方ヲ要求シ二十一日ヨリ同盟罷業ヲ決行セルニ浜名ハ即時右等人夫ヲ全部解雇シタルカ其ノ後全地同業者等結束シテ浜名ヲ援助スルコトヽナリタル為前記人夫ヲ應援シアリタル小樽合同労働組合ニ於テハ全地ノ全労働者ニ対シ同情罷業決行方指令セリ依ッテ本月十八日海陸仲仕四百七十名之ニ應ジテ罷業実行ニ出翌十九日二八約千名其翌二十日ニハ更ニ五百名増加シ合計約二千名ノ運輸労働者罷